

子育て支援センター



梅野よしみ 保育士



「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】 子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】 月～金曜日 9～16時
 【場所】 総合福祉センター
 「ひまわりの里」内
 【対象】 0歳から未就学の子どもとその保護者
 ※利用には保護者の付き添いが必要です
 【利用料】 無料

**■ ひまわりのたねって
どんなところ？**

4月を迎えました。保育所や幼稚園に入園した子どもたちそしてお母さんたちは、少し慣れただろうか？気になりながら、今年度はどんな親子と出会えるのだろうか、またどんな支援講座をしようかとみんな考えているところです。

「こんなあそび場があったのですね」と言われることがあります。みなさんに知ってもらえて気楽に来てもらえるようにと思います。毎年、季節の行事やプール遊びなどもしています。今月は一部を写真で紹介してみました。

◆中庭の砂場は大好評

◆絵本「おにぎり」をテーマに

◆いっぱい動いた 親子ピクス



「楽しい～」



暑い日はタープの下で。

◆「いらっしゃいませ」 お店やさんごっこ



手作りのサイフの中から100円玉！



料理教室を親子で！



人権だより

【問合せ先】 桂川町人権センター ☎65・1187



山路敦子 館長

■ 新年度スタートはいろんな出会いが待っています

新年度がスタートしました。平成も今月で終わりますが、新しい時代の幕開けが待っていますね。その中で新しい出会いもたくさんあるでしょう。私は約30年前に聴いた「てのひら」という曲のCDを探してあちこちに尋ねたところ、ありがたいことにそのCDが私の手元に届いたので。

3月号の人権だよりに掲載していた「小学校6年生の聞き取り学習」の際、6年生の子どもたちと一緒にこの「てのひら」を歌いました。子どもたちは、すぐに口ずさむほど耳に残ったようです。

「てのひら」を作詞・作曲した方が、何と飯塚市在住の原正広さんとかいお会いすることができました。

原さんは「約30年前に作ったこの曲を、このように使ってもらえることはうれしい」と話されました。約30年前に出会った「てのひら」の曲からこんな出会いが待っていたとは、人はどこかで繋がっているんだと感じました。

今年度もいろんな出会いを大切に、町民の皆さんと人権について考えていきたいと思います。

♪てのひら

作詞/作曲 原 正広

あなたのでのひらに	わたしのでのひらを
二つあわせたら	きっとわかるでしょう
あなたの願いと	わたしの願いが
きっとどこかで	結ばれてることを
人間だもの	人間だもの
幸せもとめる	心は一つ
あなたもいつしか	知ってゆくでしょう
人を愛する	ことの重さを